

業績目録（消化器内視鏡に関する論文・講演など）

- 1) 本学会の学術誌またはその他の学術誌に発表した消化器内視鏡に関する論文（筆頭者または共著者）についてご記入下さい。
※掲載論文の最初のページ（題名・著者名・掲載誌名・巻・号が明記されている頁）のコピー（A4サイズ）を添付し申請者にアンダーラインをつけて下さい。なお講演の抄録は論文としては認められません。
- 2) ①最近 5 年以内に、本学会総会または支部例会において、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、特別講演、等（いずれも 5 名以内）に演者として参加したものについてご記入ください。
- 3) 最近 5 年以内に、本学会総会または支部例会もしくは支部セミナーにおいて、司会または座長もしくは講師を務めたものについてご記入ください。
※抄録かプログラムのコピー（A4 サイズ）を添付し演題番号に○をつけて下さい。その総会（支部例会）等の名称、第何回のものか、申請者の名前が明記されているものに限りです。

上記1)または2)①のいずれか一つが筆頭者であること。

1) 論文

Akita T, Aomori J, Iwate I. Long-term outcomes and prognostic factors with non-curative endoscopic submucosal dissection for gastric cancer in elderly patients aged ≥ 75 years. *Gastric Cancer*. 2019;22(4):838-844.

Aomori J, Iwate I, Akita T, Yamagata S. Risk Factors for Post-gastric Endoscopic Submucosal Dissection Bleeding With a Special Emphasis on Anticoagulant Therapy. *Dig Dis Sci*. 2019;65(2):557-564.

秋田太郎, 宮城五郎, 福島四郎. 潰瘍性大腸炎における拡大内視鏡所見 病態および腫瘍性病変診断の点から. *胃と腸*. 2019;54(1):67-75.

2) ①講演

秋田太郎. 十二指腸非乳頭部腫瘍におけるクリスタルバイオレット染色拡大内視鏡所見の有用性. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会. 2019 年. 東京. (ワークショップ)

秋田太郎, 青森次郎, 岩手一郎, 山形三郎. 大腸上皮腫瘍における NBI 拡大内視鏡下の血管密度の検討. 第 161 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会. 2018 年. 仙台. (ワークショップ)

岩手一郎, 秋田太郎, 宮城五郎. 免疫チェックポイント阻害薬併用・スイッチ治療による大腸炎の特徴. 第 164 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会. 2020 年. 仙台. (シンポジウム)

2) ②司会または座長もしくは講師

第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 (2019 年. 東京) 一般演題「胃瘻」座長

第 164 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会 (2020 年. 仙台) 一般演題「十二指腸 1」座長